

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第48期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 パウダーテック株式会社

【英訳名】 Powdertech Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 隅 田 洋

【本店の所在の場所】 千葉県柏市十余二217番地

【電話番号】 04-7145-5751(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部長 徳 重 秀 人

【最寄りの連絡場所】 千葉県柏市十余二217番地

【電話番号】 04-7145-5751(代)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部長 徳 重 秀 人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,594,478	4,614,882	9,357,798
経常利益 (千円)	482,773	635,016	980,665
四半期(当期)純利益 (千円)	276,333	381,716	577,292
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	288,128	394,802	578,865
純資産額 (千円)	6,368,365	6,905,496	6,659,073
総資産額 (千円)	9,932,000	10,260,688	9,560,261
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	18.64	25.75	38.94
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	64.1	67.3	69.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	741,695	704,435	1,614,672
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	400,254	224,388	942,580
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	220,483	227,348	387,839
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,041,195	1,466,190	1,207,030

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり 四半期純利益金額 (円)	9.14	12.49

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容に重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、米国では緩やかな回復基調が続いたものの、欧州の景気低迷や新興国の経済成長の鈍化により不透明な状況が続きました。いっぽう国内は、年初からの円安、株高に支えられ輸出関連や個人消費の一部回復など、景気は緩やかに回復へと向かいました。

このような経済環境のなか、電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場環境も回復傾向を示す動きが見られました。

脱酸素剤が使用される食品業界は、全体的な消費回復までには至らず推移いたしました。鉄粉の主要用途であるカイロにつきましては生産調整等により前年同期を下回る需要となりました。

これらの市場環境下、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比0.4%増加の4,614百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の増益により、営業利益は631百万円（前年同期比27.2%増）、経常利益は635百万円（前年同期比31.5%増）、四半期純利益は381百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

キャリア事業

当セグメントにおきましては、一部お客様での在庫調整もありましたが、新品種の立ち上がりは寄与し、売上高は3,397百万円（前年同期比4.3%増）となりました。セグメント利益はエネルギーコストの上昇はありましたが、増販と新品種の在庫確保に伴う売上原価減などにより770百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は前年同期並の販売となりましたが、カイロ用鉄粉の販売減により、売上高は1,217百万円（前年同期比9.0%減）となりました。セグメント利益は、円安による原料の高騰と減販損が大きく影響し36百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金、たな卸資産、預け金等の増加により、714百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産の除却などにより14百万円減少いたしました。以上により、総資産は700百万円増加し10,260百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払金が増加しましたので、454百万円増加し3,355百万円となりました。借入金は前連結会計年度末と同額の392百万円となっております。

純資産は、246百万円増加し6,905百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.4%減少し67.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が616百万円となり、減価償却費が330百万円、売上債権の増加で154百万円のキャッシュ減少、たな卸資産の増加で288百万円のキャッシュ減少、仕入債務の増加で367百万円のキャッシュ増加、法人税等の支払で159百万円のキャッシュ減少等により、704百万円のキャッシュの増加（前年同期比37百万円キャッシュ減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主にキャリア製品製造設備等の設備投資に224百万円を支出したことにより、224百万円のキャッシュの減少（前年同期比175百万円キャッシュ増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、リース債務の返済による支出78百万円、配当金の支払148百万円等を行い、227百万円のキャッシュの減少（前年同期比6百万円キャッシュ減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比424百万円増加し1,466百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は212,400千円であります。なお、研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

(6) 主要な設備

新たに確定した重要な設備の新設計画は、次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額(千円)		資金調達 方法	着手予定 年月	完成予定 年月	完成後の 増加能力
			総額	既支払額				
本社、工場 (千葉県柏市)	キャリア 事業	フェライトキャリア 製造設備増設	1,707,000		自己資金 及び 借入金	平成26年 1月	平成27年 2月	生産能力 約30%増

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(7) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、現在の事業環境および入手可能な情報に基づき、最善の経営方針を立案するよう努めております。事業環境の変化に対応すべく経営戦略を明確にし、掲げた課題と施策を確実に実行してまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,850,000	14,850,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	14,850,000	14,850,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		14,850,000		1,557,000		1,566,000

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南悠商社	東京都港区虎ノ門4 - 1 - 35	5,473	36.85
三井金属鉱業株式会社	東京都品川区大崎1 - 11 - 1	5,131	34.55
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2 - 5 - 5	660	4.44
パウダーテック従業員持株会	千葉県柏市十余二217番地	444	2.99
三井生命保険株式会社	東京都千代田区大手町2 - 1 - 1	333	2.24
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH-CLIENT ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	C/O HSBC INVESTMENT BANK ASIA LIMITED LEVEL 14,1 QUEEN'S ROAD CENTRAL HONG KONG (東京都中央区日本橋3 - 11 - 1)	245	1.64
株式会社千葉興業銀行	千葉県千葉市美浜区幸町2 - 1 - 2	165	1.11
新沢 正治	茨城県高萩市	104	0.70
黒田 兼司	千葉県柏市	78	0.52
松浦 行子	東京都中央区	74	0.49
計		12,708	85.58

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 23,000		単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,784,000	14,784	同上
単元未満株式	普通株式 43,000		
発行済株式総数	14,850,000		
総株主の議決権		14,784	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式978株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パウダーテック株式会社	千葉県柏市十余二217番地	23,000		23,000	0.15
計		23,000		23,000	0.15

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,076	333,410
受取手形及び売掛金	^{1, 3} 1,163,201	¹ 1,321,584
商品及び製品	931,737	1,004,337
仕掛品	647,141	876,743
原材料及び貯蔵品	344,999	341,303
繰延税金資産	123,008	122,949
預け金	787,954	1,132,779
その他	22,675	21,595
貸倒引当金	604	706
流動資産合計	4,439,190	5,153,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,597,897	3,597,897
減価償却累計額	2,361,561	2,409,007
建物及び構築物(純額)	1,236,336	1,188,890
機械装置及び運搬具	² 6,591,992	² 6,596,918
減価償却累計額	5,361,910	5,490,702
機械装置及び運搬具(純額)	1,230,081	1,106,216
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,636,539	1,623,214
減価償却累計額	1,284,166	1,341,300
リース資産(純額)	352,373	281,914
建設仮勘定	153,344	391,720
その他	409,736	417,669
減価償却累計額	335,508	353,684
その他(純額)	74,227	63,985
有形固定資産合計	4,906,562	4,892,925
無形固定資産		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
投資その他の資産		
投資有価証券	18,144	17,892
繰延税金資産	158,514	158,766
その他	56,572	56,431
貸倒引当金	20,587	21,190
投資その他の資産合計	212,643	211,899
固定資産合計	5,121,071	5,106,690
資産合計	9,560,261	10,260,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	³ 827,173	1,199,993
1年内返済予定の長期借入金	98,000	98,000
リース債務	73,550	49,394
未払金	319,748	445,419
未払法人税等	167,067	242,766
未払事業所税	17,238	8,500
未払消費税等	42,410	9,415
賞与引当金	175,196	194,090
役員賞与引当金	22,000	-
その他	³ 142,955	143,473
流動負債合計	1,885,341	2,391,052
固定負債		
長期借入金	294,000	294,000
リース債務	281,608	235,184
長期未払金	35,122	20,946
退職給付引当金	399,215	408,109
環境対策引当金	5,900	5,900
固定負債合計	1,015,846	964,139
負債合計	2,901,187	3,355,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	3,556,891	3,790,343
自己株式	6,401	6,517
株主資本合計	6,673,489	6,906,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,551	1,388
為替換算調整勘定	15,967	2,719
その他の包括利益累計額合計	14,415	1,330
純資産合計	6,659,073	6,905,496
負債純資産合計	9,560,261	10,260,688

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,594,478	4,614,882
売上原価	3,451,517	3,372,272
売上総利益	1,142,960	1,242,609
販売費及び一般管理費	¹ 646,352	¹ 611,115
営業利益	496,607	631,493
営業外収益		
受取利息	2,169	3,400
為替差益	-	5,787
その他	6,410	5,043
営業外収益合計	8,580	14,230
営業外費用		
支払利息	2,519	438
為替差損	8,818	-
債権売却損	9,765	9,628
その他	1,311	640
営業外費用合計	22,415	10,707
経常利益	482,773	635,016
特別利益		
有形固定資産売却益	1,287	-
特別利益合計	1,287	-
特別損失		
有形固定資産除却損	17,674	18,624
投資有価証券評価損	931	-
特別損失合計	18,606	18,624
税金等調整前四半期純利益	465,454	616,392
法人税等	189,120	234,675
少数株主損益調整前四半期純利益	276,333	381,716
四半期純利益	276,333	381,716

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276,333	381,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546	162
為替換算調整勘定	11,248	13,248
その他の包括利益合計	11,794	13,085
四半期包括利益	288,128	394,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,128	394,802

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	465,454	616,392
減価償却費	306,773	330,065
貸倒引当金の増減額(は減少)	752	704
賞与引当金の増減額(は減少)	11,715	18,894
役員賞与引当金の増減額(は減少)	24,000	22,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	33,078	8,893
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	21,140	-
受取利息及び受取配当金	2,217	3,454
支払利息	2,519	438
為替差損益(は益)	782	1,619
固定資産売却損益(は益)	1,287	-
有形固定資産除却損	3,505	31,141
投資有価証券評価損益(は益)	931	-
売上債権の増減額(は増加)	51,821	154,654
たな卸資産の増減額(は増加)	70,629	288,603
仕入債務の増減額(は減少)	168,919	367,553
未払消費税等の増減額(は減少)	30,073	32,994
長期未払金の増減額(は減少)	-	14,176
その他	24,843	4,027
小計	891,702	860,609
利息及び配当金の受取額	2,217	3,454
利息の支払額	2,091	438
法人税等の支払額	150,133	159,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	741,695	704,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	401,839	224,388
有形固定資産の売却による収入	1,585	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	400,254	224,388
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	72,057	78,968
自己株式の取得による支出	154	115
配当金の支払額	148,271	148,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	220,483	227,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	518	6,461
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	120,439	259,160
現金及び現金同等物の期首残高	920,756	1,207,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,041,195	¹ 1,466,190

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
1 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
債権流動化に伴う買戻義務	78,514千円	64,542千円

2 過年度における国庫補助金等に係る資産の取得価額の直接圧縮累計額は61,598千円であります。

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	670千円	
支払手形	10,819	
設備関係支払手形	3,551	

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
販売費	千円	千円
賞与引当金繰入額	13,989	13,524
退職給付費用	2,690	3,521
一般管理費		
賞与引当金繰入額	35,660	42,890
退職給付費用	8,301	3,997
役員退職慰労引当金繰入額	2,925	
研究開発費	104,477	103,463

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	408,118千円	333,410千円
預け金	633,076	1,132,779
現金及び現金同等物	1,041,195千円	1,466,190千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	148,271	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	148,264	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,256,225	1,338,252	4,594,478		4,594,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,256,225	1,338,252	4,594,478		4,594,478
セグメント利益	636,677	65,922	702,599	205,991	496,607

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 205,991千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 204,771千円及び棚卸資産の調整額 1,220千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,397,183	1,217,698	4,614,882		4,614,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,397,183	1,217,698	4,614,882		4,614,882
セグメント利益	770,331	36,496	806,827	175,334	631,493

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 175,334千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 174,501千円及び棚卸資産の調整額 833千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18.64	25.75
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	276,333	381,716
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	276,333	381,716
普通株式の期中平均株式数(株)	14,826,735	14,826,254

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

パウダーテック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 井 修 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 戸 谷 且 典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパウダーテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パウダーテック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。